

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	伊那商工会議所.
事業主体 (連絡先)	Open “INA” Vation ! 伊那の地域資源・地域人材再発見事業
事業区分	(6) 産業 振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	499,151 円 (うち支援金 : 350,000 円)

事業内容

『ちゃんと作れる』『ちゃんと売れる』人の育成をめざして食品加工や損益等の講座を開催し、地域ぐるみで農産加工の新商品開発を支援し、販路開拓等の取り組みを行った。

- ①食品加工基礎講座開催 (全4回)
- ②数字で考える農産加工講座開催
- ④開田高原アイスクリーム工房視察
- ⑤食品加工追加講座
- ⑥食品加工実践講座



【①食品加工基礎講座全4回】

【目標・ねらい】

- ①80%の事業計画作成・試作品づくり
- ②きらりと輝く人の発掘・人材交流を行い人が集える場づくり

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

基礎講座にはのべ108人が参加し、農産加工に対する知識習得、新商品開発の機運が高まった。伊那市内で同様の講座は行われていなかったため、本事業実施により生産者だけではなく創業予定者や主婦などといった一般人にとっても始め方や、安全な食品づくりの知識が深まった。

※自己評価 【B】

【理由】

新商品開発には一定の資本力と検討する時間が必要。単年度での実現は難しかったが、講座終了後も月1回定例会として集まり、参加者の自主的な企画検討を継続中。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

参加者の自主的な取り組みとして、来年度、参加者で共同して「おばあちゃんから孫に送りたい伊那谷お歳暮ギフト」と秋の試食・販売イベントの出展を計画中である。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある